

《国語の基礎確認シート7》 中心となる語や文・言語文化

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

一 次は、木村さんのグループが発表した内容です。

〈木村さん〉

わたしの家では、昔からの知恵を生かして、電気を使わないようにしています。一つめは、打ち水です。朝、すずしいうちに、庭などに水をまくと、水が地面から熱をうばって気温が下がります。水は、ふろの残り湯を使っています。二つめは、すだれです。まどの外にすだれをつり下げると、外の熱が部屋の中に直接入ることをふせげます。

〈山中さん〉

わたしの家では、エアコンの使い方を工夫しています。外から帰ってきたら、まずは家のまどを全開にして、室内の空気を入れかえてから、エアコンのスイッチを入れるようにしています。それから、エアコンのついた部屋に家族みんなで集まるようにして、ほかのエアコンをできるだけ使わないようにしています。

〈大森さん〉

ぼくの家では、まどの外に、アサガオやゴーヤのようなつる性の植物を植えて、緑のカーテンを作っています。見た目がすずしいだけでなく、直射日光がさえぎられ、葉から出る水分の効果も加わって、室内の温度上しようをふせぐことができます。収穫した野菜は料理に使えるので、一石二鳥です。

(1) 木村さんたちは、どんなテーマで発表していますか。次の1から3までの中から、最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 わが家の節電対策 2 わが家の節水対策 3 わが家の断熱対策

(2) 木村さんたちは、それぞれの発表内容に小見出しをつけました。このとき、次のように、A案、B案の二つの案を考えました。表中の()に入る言葉としてふさわしいものを、文中から六字でぬき出して書きましょう。

発表者	A案	B案
木村	昔からの知恵	打ち水とすだれ
山中	エアコンの使い方	かん気してからスイッチ
大森	()	アサガオやゴーヤ

(3) 文中の――線部「一石二鳥」の「一」と「二」をたすと「三」になります。次の例を参考にして、あとのアからエまでの□に入る数字を漢字で答え、それぞれの言葉を完成させましょう。

例 □一石□二鳥 (三) 意味…一つの動作で二つの利益を得ること。

- ア □転び□起き (十五) 意味…何度失敗しても、あきらめずに立ち上がること。
 イ □人□色 (二十) 意味…考えや好みなどは、人それぞれであること。
 ウ □を聞いて□を知る (十一) 意味…物事の一部を聞いただけで全部を理解すること。
 エ □□時中 (十) 意味…いつも。